

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ岡垣

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなると、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月毎に地域の方や家族の参加で自由な会議になっているが、会議のマナー化を防ぎ、ホームの運営の反映だけではなく、参加者にとっても、有意義な会議として知識や情報を得る内容になるように検討していく。	参加委員に地域で活動している有識者、知見者、複数の民生委員、元家族等に参加を要請し、ホームの課題や地域の問題などを話し合い、運営推進会議が、地域社会に貢献できる会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	1	理念の共有と実践	職員一人ひとりが理念について、理解して介護を提供しているが、時には理念を唱和したり、会議の中で理念の意義を見直したりして、利用者本位の介護に繋げていく。	毎月の介護目標を職員間で話し合い作成し、職員全員が目標を達成するための努力はしているが、更に、理念の理解や共有を図るために朝礼で理念を唱和し、振り返る機会を設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。